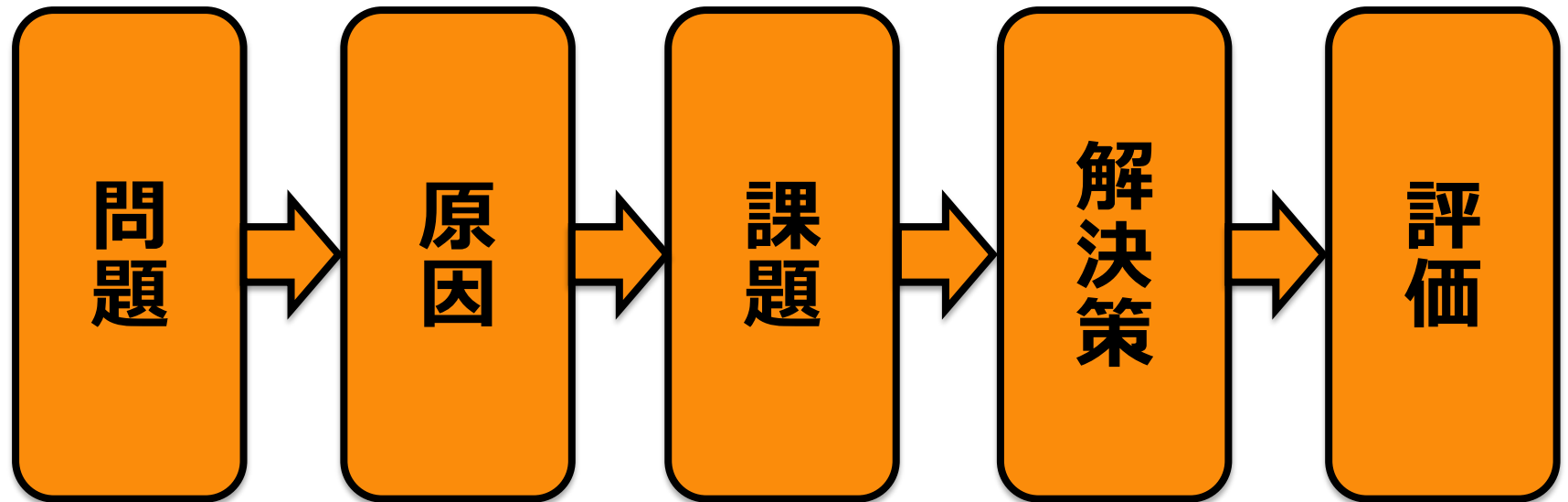


# CRS使用率向上のための行動変容を いかにうながすか

東北公益文科大学 教授 神田 直弥

# 問題解決の流れ



# チャイルドシート・ジュニアシートを使わない原因

## 課題

子どもが利用  
したいと思うよう  
になるためには

窮屈で  
動けない

不快感

恥ずかしい

景色が見えない

親が強く言わない



知らなかった  
経済的な理由



安全運転なので  
大丈夫



シートベルト  
をしていれば  
大丈夫



短距離だから  
大丈夫

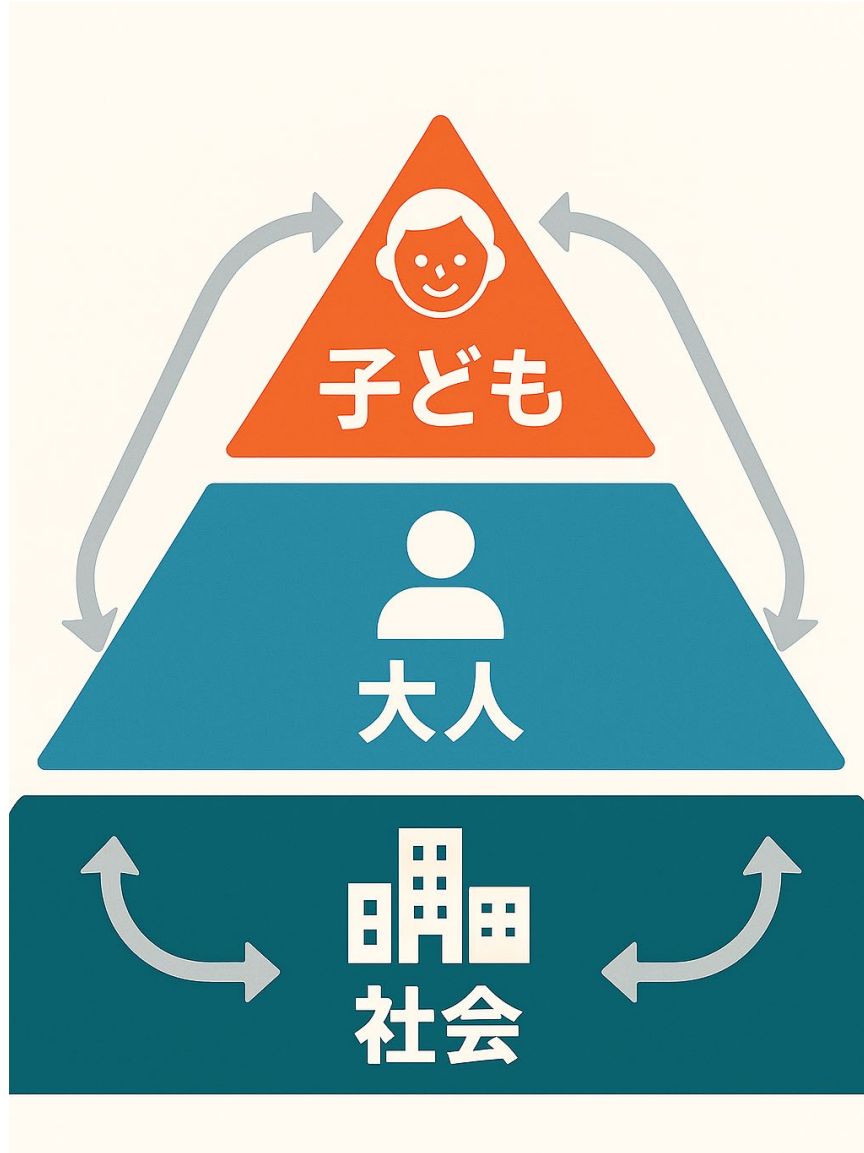


断るのが気まずい

親が子どもに利用  
させたいと思うよ  
うになるためには

断っても関係が悪化  
しないようにするた  
めには

# 行動変容の3つの視点



子ども自身・親・周囲（社会）の3つのレベルの行動変容

- ① 子どもの内発的動機づけを高める
- ② 親の過信を減らし、チャイルドシート・ジュニアシート利用意図を高める
- ③ 安全行動が社会の常識になる



# 子どもを対象としたアプローチ

## 自己決定理論 自己決定が継続的な動機に

無動機	外発的動機づけ				内発的動機づけ
	外的調整	取入れ的調整	同一化的調整	統合的調整	
無行動や無意図	外的な報酬や罰	内的な報酬や罰承認／恥	規範の意識的な価値づけ	規範と自己の価値の統合	楽しさや興味

どうでもいい	乗りたくないけど怒られるから座る	良い子でいたいから座る	事故があったら守ってくれるから座る	安全を大事にしているから座るのが当たり前	ジュニアシートに座るのは格好いい
--------	------------------	-------------	-------------------	----------------------	------------------

自己決定的

動機づけを高める前提となる心理的欲求

### 自律性

安全を自ら考えて実施できる

### 有能感

何が危険でどうすればよいかかわかる

### 関係性

他者との関わりの中で自分の行動を捉えられる

発達段階に応じた取り組み

- 格好いい安全座席
- よく見える専用席
- 自分を守るために座る席
- 安全の理由を自ら理解し利用

取組の視点

自律性 自分で決める	<ul style="list-style-type: none"><li>• チャイルドシートを自分で選ぶ</li><li>• ベルトを自分で装着する</li><li>• 自ら考える安全宣言</li></ul>
有能感 安全に詳しい 格好いい	<ul style="list-style-type: none"><li>• 150cm以下は大人用シートベルトが適合しないことを示し、自ら必要性を理解</li><li>• 交通安全の理解を認定する（安全マスター検定・認定制度）</li></ul>
関係性 安全の ロールモデル	<ul style="list-style-type: none"><li>• 学校のクラスレベルでの取り組み</li><li>• 安全リーダーとして低学年に教える（上級生としてのモデル）</li></ul>



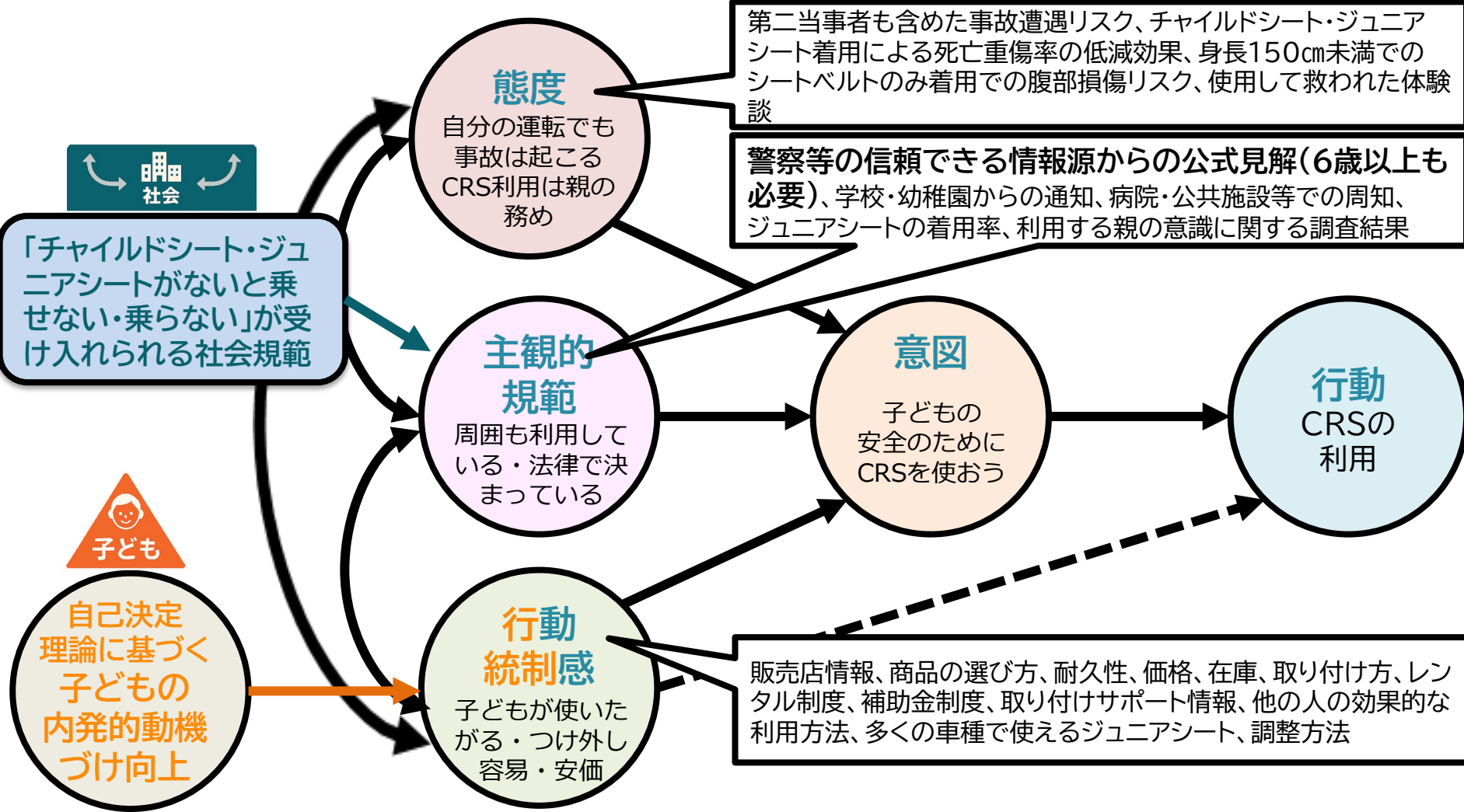
利用している人が認められ、  
賞賛される（社会的学習）



# 親を対象としたアプローチ

## 計画的行動理論

利用を考えるきっかけを増やす



Ajzen, I 1991 The theory of planned behavior. Organizational Behavior and Human Decision Processes, 50(2), 179-211を基に作図



# 社会を対象としたアプローチ



お願いされると断りづらい

**安全行動が常識とされる文化の形成**

看護分野における言えない要因

- ①間違いへの確信が持てない
- ②人間関係の悪化が心配
- ③立場の違い

断れない

乗せてはいけないという確信が持てない

些細な問題であると考え

立場上、断りにくい

断った時の人間関係の悪化が心配

- ルールの不理解
- ルールが「義務」でなく「推奨」
- 短時間・短距離なので大丈夫
- 事故は起こさない

- 拒否が相手の恥や、相手への非難に
- 細かすぎる等の自己評価につながる
- 断ることはよくないという社会的信念
- 感情的対立

大人

**態度**

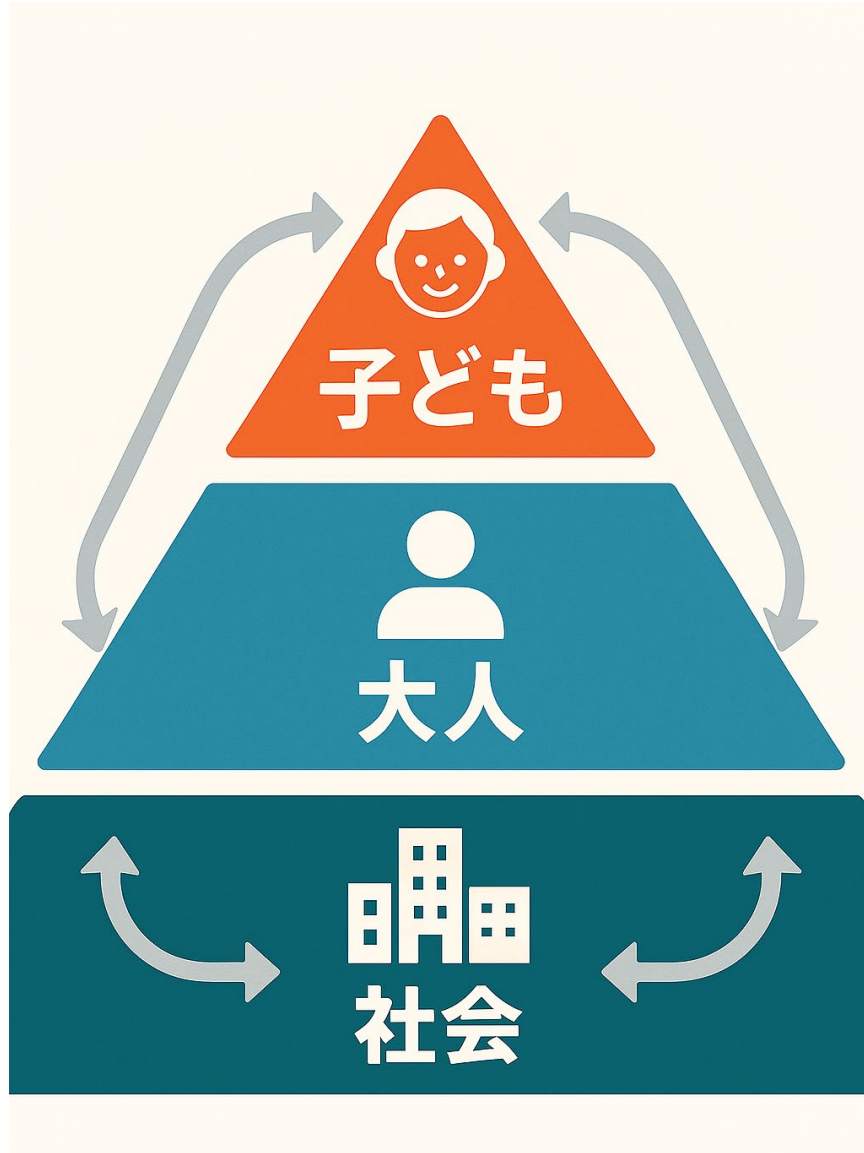
自分の運転でも事故は起こる  
CRS利用は親の務め

「チャイルドシート・ジュニアシートがないと乗せない・乗らない」が受け入れられる社会規範

各種情報源からの統一的消息「安全のために断るのは思いやり」

医療分野「To Err Is Human」に基づく相互啓発

# まとめ 行動変容の3つの視点



## ①子供、②大人(親)、③社会 3階層の取り組みの相互連携

- 自己決定理論（自律性・有能感・関係性）を意識した教育・メッセージ
- 計画的行動理論（態度・主観的規範・行動統制感）の各観点で必要な情報の統合的な発信
- 「チャイルドシート・ジュニアシートがないと乗せない・乗らない」が受け入れられる社会規範の形成に資する情報発信

信頼できる情報源からの公式見解  
と各種団体の統一的メッセージ